

◆陳情の議決結果と各会派の賛否

各陳情の詳細はこちら▶



個人名を記載した会派ごとの賛否はこちら▶



(○：賛成、×：反対、退：退席)

Table with columns: 審査した委員会, 陳情番号, 件名, 自民, 未来, 公明, 立目, 共産, 無 (50音順), 結果. Rows include items like 'ひもんや保育園民営化における行政対応の適正化を求める陳情' and '職員団体の組合費給与天引き (チェックオフ) 手続の適正運用および行政の政治的中立性確保を求める陳情'.

審査した委員会 陳情番号 撤回承認した陳情

- 企総 ● 陳情 7 第37号 政治活動及び選挙活動における妨害の禁止を周知する陳情
文教 ● 陳情 7 第14号 学習者の声を教育政策に反映させることを求める陳情
施特 ● 陳情 7 第13号 区民センター再開発について、他地域も含めた目黒区全体構想(グランドデザイン)を提示することを求める陳情

審査した委員会 陳情番号 継続審査とした陳情

- 企総 ● 陳情 8 第1号 核兵器禁止条約に関する陳情
● 陳情 8 第5号 区議会から申し入れが行われた事務処理ミス対応に関する陳情
● 陳情 8 第8号 選挙運動における妨害の禁止を周知する陳情
● 陳情 8 第9号 「ジェノサイド条約」の批准に関する陳情
● 陳情 8 第10号 再審法改正促進の意見書を国会・政府に提出することを求める陳情
● 陳情 8 第14号 災害に対する住居支援の重要性を確認し、目黒区として、「被災及び避難の状況、避難の継続又は帰還についての意向、家族関係・健康状態・就労状況その他生活の状況、安定した住宅の確保に関する事情等の具体的な事情を総合的に考慮した災害ケースマネジメント体制の構築を求める陳情
文教 ● 陳情 7 第27号 目黒区の小中学校の学用品無償化を求める陳情
● 陳情 7 第30号 目黒区立中学校の部活の地域移行に関する陳情
● 陳情 8 第11号 統合新校在籍生徒の通学負担解消のために具体的な対策を講ずることを求める陳情
施特 ● 陳情 7 第10号 区民センター再開発について、「目黒区美術館の保存」も含めた幅広い可能性を検討することを求める陳情
● 陳情 7 第11号 「新たな目黒区民センター等整備・運営事業」再検討に関する陳情
● 陳情 7 第16号 目黒区美術館の建物を壊すという区の方向性に反対する陳情
● 陳情 8 第6号 区民センター再開発について、住環境や地域社会に与える長期的影響を評価基準に加え、サステナビリティを重視する企業理念を持つ事業者を選定することを求める陳情
● 陳情 8 第13号 目黒区内でも今後増えるであろう公共建築の建替え及び公共用地の有効利用に際し、「今だけ金だけ自分だけ」の風潮に流されず、先ずは「目黒区都市計画グランドデザイン」を官民協働で創り上げてくださることを陳情致します。

議員の辞職

坂元悠紀議員(未来)は令和8年1月27日付で辞職しました。

意見書を提出しました

区民の皆さんの生活に関わることで、それが国や都の仕事である場合は、区だけでは解決できないことがあります。このようなとき区議会は、地方自治法第99条に基づき、国会または関係行政庁(国・都など)に対して、意見書を提出し、問題の解決を求めます。第1回定例会では1件の意見書を提出しました。

日本政府に 非核三原則の堅持を求める意見書



非核三原則「核兵器を持たず、作らず、持ち込ませず」は、昭和42年に佐藤栄作内閣総理大臣が国会において表明し、昭和46年には衆議院においてその遵守を確認する決議が可決されて以来、我が国の国是として位置付けられ、歴代内閣により一貫して堅持されてきた原則です。

我が国は、広島・長崎に原子爆弾が投下された唯一の戦争被爆国として、核兵器の非人道性を世界に訴え続けてきました。平成6年以降、国連総会において毎年核兵器廃絶決議案を提出してきたことは、その象徴であり、国際社会においても、非核三原則を堅持する我が国の姿勢は、地域及び世界の安定に一定の役割を果たしてきたものと評価されています。

さらに、令和6年には、日本原水爆被害者団体協議会が、その長年にわたる核兵器廃絶と平和を求める活動が国際社会から高く評価され、ノーベル平和賞を受賞しました。この受賞は、被爆者の「核兵器のない世界を実現したい」という切実な訴えが、国境や世代を超えて共有されていることを示すものであり、我が国が非核三原則を堅持し続ける意義を、改めて世界に示したとも言えます。

目下、国際情勢は一層厳しさを増し、核兵器を巡る緊張も高まっています。こうした中、我が国では、安全保障関連三文書の改訂に向けた議論が与党内で進められており、非核三原則の見直しを懸念する声があります。

広島と長崎にもたらされた惨禍を二度と繰り返さぬよう被爆の実相を後世に伝え、「核兵器のない世界」の実現に向けた努力を着実に積み重ねていくことは、唯一の戦争被爆国である我が国の重要な使命です。だからこそ、非核三原則は、我が国の安全保障政策の根幹として、今後も確実に堅持されるべきです。

目黒区は、戦火に包まれた悲しい歴史を鑑みて、昭和60年5月3日「目黒区平和都市宣言」を発表し、「地球のすべての人びととともに永遠の平和を築くよう努力する。この誓いをこめて平和憲法を擁護し、核兵器のない平和都市であることを宣言」しています。

以上を踏まえ、目黒区議会は、国会及び政府に対し、核兵器のない平和な世界の実現を願う被爆地の思いを真摯に受け止め、非核三原則を今後も堅持することを強く要請します。

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣 宛て

請願・陳情の受け付け

請願・陳情とは、区政に関することなどを、区議会に直接要望できる制度です。請願には区議会議員の紹介が必要です。目黒区議会では、議員の紹介のない陳情も請願と同様に扱います。

◆受け付け方法◆

令和8年第2回定例会での審査を希望するかたは、締め切り日までに区議会事務局へ請願・陳情書を持参してください。郵送によるものは原則審査を行いません。

令和8年第2回定例会への請願・陳情締め切り日：6月8日(月)正午

※締め切り日以降に提出されたものは、次の本会議で審議します。



行政視察報告 施設更新・公民連携等調査特別委員会(令和7年12月23日・24日)



報告書はこちら▶

Table with columns: 視察先, 視察項目, 内容. Rows include '富山県氷見市' (regarding school renovation) and '富山県' (regarding citizen cooperation).



▲第一体育館(役所棟)と第二体育館(議会棟)をつなぐエントランスを新設した市庁舎

▶旧学校校舎の廊下を活用し、黒板など既存の設備を生かした庁舎内空間



(いずれも富山県氷見市)

目黒区議会からの情報を発信中!

Navigation icons and QR codes for: 区議会ウェブサイト, 目黒区議会 議会中継, 区議会だより 音声版, 区公式X (IBTwitter), 区LINE公式 広報メニュー 区議会だより

めぐろ区議会だよりデジター版をCDでお送りします。詳細は、障害者支援課(☎5722-9846、FAX3715-4424)へお問い合わせください。



再生紙を使用しています



環境にやさしい 植物油インキを使用しています



見やすく読み間違えにくい ユニバーサルデザインフォントを採用しています